

中部電カグループにおける節電の取り組み

- 中部電カグループは、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき、事業場の省エネ活動の取り扱いを定め、**日ごろから省エネ・節電対策に取り組んでいます。**
- 加えて、夏季の需給見通しを踏まえ、**7月1日から9月30日の間に無理のない範囲で節電効果をより高める取り組みを実施するよう、6月1日に全社に通知を発信いたしました。**
- 具体的な取り組み内容としては、**空調の運転状態および設定温度の適切な管理、ブラインドや緑のカーテンの活用、照明の間引き、エレベーターの稼働台数の見直し**などに取り組んでいきます。

	メニュー	節電効果※
照 明	・ 使用していないエリア（会議室・廊下等）は消灯する	2.8%
空 調	・ 執務室の室内温度を28℃ とする	3.6% (室内温度を26℃から28℃にした場合)
	・ 使用していないエリアは空調を停止する	2.0%
	・ 日射を遮るために、ブラインドや緑のカーテンを活用する	3.4%
エレベーター	・ 稼働台数の見直し、間引き	1.0%

節電メニューと効果

- 家庭向けの主な節電メニュー、節電効果は以下の通りです。

	メニュー	節電効果※	効果を高める取り組み
空調	・エアコンの冷房温度は28℃を目安に温度設定する。	6.0% (設定温度を2℃上げた場合)	・ドア、窓の開閉を少なくする。 ・フィルターを定期的（2週間に1回程度）に清掃する。 ・室外機の吹出口付近に物を置かない。
	・「すだれ」や「カーテン」等で窓からの日差しを和らげる。	4.3%	
冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「強」から「中」にして、扉の開閉時間と回数を減らす。また、冷蔵室に食品を詰め込みすぎないようにする。	1.8%	・扉の開閉回数、時間を減らす。 ・熱いものは冷ましてから冷蔵庫へ入れる。
テレビ	・省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	0.8%	・主電源にて電源OFFにする。
照明	・不要な照明は消灯する。	3.3%	・LED等の高効率機器へ取替する。
洗濯機	・洗濯時、容量の80%程度を目安にまとめて洗う。	0.2%	—
待機電力	・長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜く。	0.8%	—

※「節電効果」はピーク時の家庭の電力使用量に対する節電効果の概算値であり、地域・時間帯により節電効果は変動する。



中部電力パワーグリッド